

# 1 事業報告書

## (1) 法人の概要

### ① 建学の精神

徳・健・財、三拍子そろった姿でルールを守り、世の中のために尽くす人間となるために、勤勉努力する人物を育成する。

### ② 教育方針

勤勉と責任とを重んじ、自立的精神を養うと共に、明朗にして誠実、常に希望の中に幸福を見出し、社会のすべてから「安心」と「尊敬」と「信頼」の対象となり、信用され得る人物を育成するため仏教を中心とした宗教による教育を実施する。

### ③ 設置する学校

清風南海中学校 生徒定員 840名  
清風南海高等学校 全日制課程 普通科 生徒定員 1080名

### ④ 役員及び教職員等

理事長、専務理事、理事(4名)、監事(2名)、評議員(13名)、教職員等(168名)  
学校医等(学校医・歯科医・学校薬剤師・産業医)【委嘱】4名(兼務1名を含む。)

### ⑤ 法人の沿革

昭和38年 4月 清風学園姉妹校として学校法人清風南海学園を創設開校  
昭和58年 4月 中学校を併設開校  
昭和58年 4月 オーストラリア ブリスベン・グラマースクールと姉妹校提携  
昭和59年 4月 イギリス ザ・ロイヤル・ウルバーハンプトン・スクールと姉妹校提携  
昭和60年 4月 イギリス モンマス・スクールと姉妹校提携  
昭和60年10月 フィリピン カレジオ・デ・サンファン・デ・レトランと姉妹校提携  
平成 9年 4月 中国 北京大学附属中学と姉妹校提携  
平成11年 3月 校外学舎岬学舎新設  
平成11年 4月 中学校男女共学実施  
平成14年 4月 高等学校男女共学実施  
平成24年 3月 新校舎第1期の完成  
平成25年 3月 新校舎第2期の完成  
平成25年 9月 テニスコート、クラブ新棟の完成

## (2) 学校運営の概要

### ① 校地・校舎

位置 大阪府高石市綾園5丁目7番64号  
(岬学舎) 大阪府泉南郡岬町淡輪4146番1  
校地 校地面積 32,909.68㎡  
運動場面積 22,590.75㎡  
校舎面積 18,521.97㎡

### ② 教育課程

中学校(50分授業)

教科 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語、  
道徳、特別活動、その他選択教科及び総合的学習

高等学校(50分授業)

教科 国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、  
情報、総合的学習、特活

### ③ 図書館 蔵書冊数 48,609冊

## (3) 卒業後の進路状況

中学 令和元年度卒業生数 272名 清風南海高等学校へ進学した数 265名  
高校 令和元年度卒業生数 305名 大学進学者数 170名

## (4) 大学合格状況

国公立大学 現役 135名 過年度生 118名  
うち、東大・京大・国公立大医学部 現役 50名 過年度生 33名

参考	現役	過年度生	計
東大	4	2	6
京大	18	10	28
国公立 医-医	28	21	49
合計	50	33	83

- (5) 令和2年度の新規事業(新たな取組み)
- ・ 高校のグローバルコースに代わる「グローバル探究ゼミ」の開設  
～政府の方針により、文科省「SGH(スーパー・グローバル・ハイスクール)制度」が昨年度入学生で終了するため、それに代わる「グローバル探究ゼミ」の制度を、令和2年度新入生より新しくスタートさせる。主な特徴としては、政府からの予算等はないものの、今までSGH指定校として活動してきたノウハウや関係機関との関係を生かしつつ、独自の探究活動を行うものであり、木曜日の第8限目に授業形態で活動を行う。
  - ・ 令和元年度の本校の大学入試結果  
～令和元年度の本校の大学入試結果は、東京大学6名(現役4名、既卒2名)、京都大学28名(現役18名、既卒10名)と、復調の兆しが見え始めているが、特筆すべき事項は、国公立医学部医学科合格者数が49名(現役28名、既卒21名)と本校創立以来の合格者数となったことである。
  - ・ 全国的な、ポスター発表・プレゼンテーションコンテストでの本校出場生徒の活躍  
～近年、「総合」教科としての探究活動が活発になっていることを背景に、そういった活動の成果をポスターやプレゼンで競うコンテストが増えてきている。そのような中、本校でも参加希望者がコースを問わず増加し、中には、勝ち進み全国大会に進んで表彰されるなど、生徒が主体性をもって探究を行う雰囲気が培われてきた。
  - ・ ICT機器・システム活用の促進  
～新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応に伴う臨時休校措置などを背景に、文科省はオンラインを中心とした授業に大きく舵をきり、全国の小中高、大学に対してその導入・活用を要請した。本学園の特に高校では、6年前から生徒全員にタブレットを持たせており、クラウドシステムである「Classi」の利用により、動画の授業やWebテスト、プリント類の配信、毎日のアンケート機能による健康確認などを、オンラインでの授業を本格化させた。さらに、新にコミュニケーションソフトである「Microsoft Teams」を導入して、Webでの会話を伴ったHR朝礼、教科に関する質問とのその対応、補習授業など、今後更なるオンライン授業の充実が期待される。一方、現在、中学生は、自宅のパソコン、スマートホンにより、「Classi」を利用して、高校と同じく授業動画、Webテストなどによるオンライン授業を進めているが、今後は、より充実したオンライン授業に対応するため、本校中学生にもタブレット、またはパソコンを全員に貸与することを検討しており、また、高校同様、「Microsoft Teams」の利用についても検討中である。

## 2 令和元年度 財務状況

### (1) 事業活動収支計算書について

#### [教育活動収支]

##### 収入の部

- ① 学生生徒等納付金が11億9847万1千円で、前年度に比べて1231万7千円減少した。  
これは、生徒数減少が主な要因です。
  - ② 大阪府からの経常費等補助金が6億2418万円で、前年度に比べて2475万7千円増加した。  
これは、中学校部門の算出プロセスの変更等が主な要因です。
- 以上、収入合計が19億884万3千円となりました。

##### 支出の部

- ① 教員等の人件費が12億8542万円で、前年度に比べて1140万7千円増加した。  
これは、教員の増加等が主な要因です。
- ② 教育研究経費が3億7336万円で、前年度に比べて935万1千円増加した。  
これは、今年度より新しく導入した放課後学習システム(N-PREP)の運営経費が主な要因です。

以上、支出合計が17億5171万3千円となり、  
この結果、教育活動収支差額は、前年度に引き続き収入が支出を上回り、  
その額は1億5713万円となりました。

#### [教育活動外収支]

- ① 前年度より少し改善され、収支差額は、マイナスの817万9千円となっており、  
この結果、経常収支差額は、1億4895万1千円となりました。

#### [特別収支]

- ① 収支差額は、2279万9千円となり、

結果、基本金組入前当年度収支差額は、1億7175万円となり、  
基本金組入額2929万8千円を控除し、当年度の収支差額としては、  
1億4245万2千円となり、前年度繰越収支差額のマイナス7億3173万7千円と合わせ、  
最終、翌年度繰越収支差額は、マイナス5億8928万5千円となりました。

(2)貸借対照表について

資産の部、固定資産及び流動資産を合わせて、57億3236万2千円で  
負債の部 固定負債及び流動負債を合わせて、11億9735万円

また、基本金は合計51億2429万6千円で、繰越収支差額がマイナス5億8928万5千円で、  
負債の部、基本金の部、繰越収支差額の部合計をあわせると、資産の部と同額になる。

### 3 令和元年度 収支計算書

(1)令和元年度 資金収支計算書(H31.4.1からR2.3.31まで)

(単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	1,198,471	人件費支出	1,326,035
手数料収入	36,971	教育研究費支出	245,471
寄付金収入	20,005	管理経費支出	83,014
補助金収入	626,979	借入金等利息支出	9,445
受取利息・配当金収入	1,266	借入金等返済支出	130,780
資産売却収入	0	施設関係支出	17,065
付随事業等収入	35,807	設備関係支出	34,613
雑収入	48,998	資産運用支出	0
借入金等収入	0	その他の支出	155,214
前受金収入	241,920	資金支出調整勘定	△ 31,195
その他の収入	38,658	翌年度繰越支払資金	1,474,281
資金収入調整勘定	△ 299,894	計	3,444,724
前年度繰越支払資金	1,495,543		
計	3,444,724		

(2)令和元年度 資金収支内訳書(H31.4.1からR2.3.31まで)

(単位:千円)

収入の部		
科目	中学校	高等学校
学生生徒等納付金収入	633,725	564,746
手数料収入	30,405	6,566
寄付金収入	9,402	10,603
補助金収入	206,672	420,307
受取利息・配当金収入	595	671
資産売却収入	0	0
付随事業等収入	24,159	11,648
雑収入	23,317	25,681
借入金等収入	0	0
計	928,275	1,040,222

支出の部		
科目	中学校	高等学校
人件費支出	563,827	748,433
教育研究費支出	109,655	135,817
管理経費支出	45,729	37,285
借入金等利息支出	4,344	5,101
借入金等返済支出	60,075	70,705
施設関係支出	8,021	9,044
設備関係支出	16,340	18,273
計	807,991	1,024,658

(3) 令和元年度 事業活動収支計算書(H31.4.1からR2.3.31まで)  
(単位:千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	金額
		学生生徒等納付金	1,198,471
		手数料	36,971
		寄付金	5
		経常費等補助金	624,180
		付随事業収入	35,807
		雑収入	13,409
		教育活動収入計	1,908,843
教育活動収支	支事出業の活動部動	科目	金額
		人件費	1,285,420
		教育研究経費	373,360
		管理経費	92,932
		徴収不能額等	0
		教育活動支出計	1,751,713
		教育活動収支差額	157,130
教育活動外収支	取事業の活動部動	科目	金額
		受取利息・配当金	1,266
		教育活動外収入計	1,266
教育活動外収支	支事業の活動部動	科目	金額
		借入金等利息	9,445
		教育活動外支出計	9,445
		教育活動外収支差額	△ 8,179
経常収支差額			148,951
特別収支	取事業の活動部動	科目	金額
		資産売却差額	0
		その他の特別収入	22,799
		特別収入計	22,799
特別収支	支事業の活動部動	科目	金額
		資産処分差額	0
		特別支出計	0
		特別収支差額	22,799
基本金組入前当年度収支差額			171,750
基本金組入額合計			△ 29,298
当年度収支差額			142,452
前年度繰越収支差額			△ 731,737
基本金取崩額			0
翌年度繰越収支差額			△ 589,285

事業活動収入計 1,932,908  
事業活動支出計 1,761,158

(4) 令和元年度 事業活動収支内訳書(H31.4.1からR2.3.31まで)  
(単位:千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	中学校	高等学校
		学生生徒等納付金	633,725	564,746
		手数料	30,405	6,566
		寄付金	2	3
		経常費等補助金	205,384	418,796
		付随事業収入	24,159	11,648
		雑収入	6,116	7,293
		教育活動収入計	899,791	1,009,052
教育活動収支	支事出業の活動部動	科目	中学校	高等学校
		人件費	539,438	732,207
		教育研究経費	165,648	207,712
		管理経費	50,155	42,777
		徴収不能額等	0	0
		教育活動支出計	755,242	982,696
		教育活動収支差額	144,549	26,356
教育活動	取事業の活動部動	科目	中学校	高等学校
		受取利息・配当金	595	671
		教育活動外収入計	595	671

動 外 収 支	支 事 出 業 の 活 動 部 動	科目	中学校	高等学校
		借入金等利息	4,344	5,101
		教育活動外支出計	4,344	5,101
		教育活動外収支差額	△ 3,749	△ 4,430
経常収支差額			140,800	21,926
特 別 収 支	収 事 入 業 の 活 動 部 動	科目	中学校	高等学校
		資産売却差額	0	0
		その他の特別収入	10,688	12,111
		特別収入計	10,688	12,111
	支 事 出 業 の 活 動 部 動	科目	中学校	高等学校
		資産処分差額	0	0
特別支出計		0	0	
		特別収支差額	10,688	12,111
基本金組入前当年度収支差額			151,488	34,037
基本金組入額合計			△ 13,770	△ 15,528
当年度収支差額			137,718	18,509
前年度繰越収支差額			830,752	△ 1,158,786
基本金取崩額			0	0
翌年度繰越収支差額			968,470	△ 1,140,277

事業活動収入計	911,074	1,021,834
事業活動支出計	759,586	987,797

※千円単位の下捨五入により、合計金額が合わない箇所があります。

#### 4 貸借対照表(令和2年3月31日)

学校法人 清風南海学園

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	4,213,907	固定負債	761,865
流動資産	1,518,455	流動負債	435,486
資産の部合計	5,732,362	負債の部合計	1,197,350
		基本金	5,124,296
		翌年度繰越収支差額	△ 589,285
		負債、基本金及び繰越収支差額の部合計	5,732,362

※千円単位の下捨五入により、合計金額が合わない箇所があります。

#### 5 財産目録(令和2年3月31日)

学校法人 清風南海学園

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	4,213,907	固定負債	761,865
有形固定資産	3,276,120	長期借入金	408,680
土地	787,032	その他	353,185
建物・建物附属設備	2,285,300	流動負債	435,486
構築物	53,722	短期借入金	113,290
その他	150,065	未払金	23,722
その他の固定資産	937,787	前受金	241,920
流動資産	1,518,455	その他	56,554
現預金	1,474,281	負債の部合計	1,197,350
その他	44,173		
資産の部合計	5,732,362		

※千円単位の下捨五入により、合計金額が合わない箇所があります。

#### 6 監査報告書

令和2年5月28日

学校法人 清風南海学園  
理事会・評議員会 様

学校法人 清風南海学園  
監事 野口 雅彦  
監事 大瀧 信治

私たちは、学校法人清風南海学園の監事として、私立学校法第37条第3項及び寄付行為第16条の規定に基づいて同学園の令和元年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、附属明細表)並びに理事の業務執行状況について監査を行いました。監査の結果、私たちは上記の計算書類は学校法人会計基準(文部省令第18号)に準拠しており、令和2年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状態を適正に表示しているものと認めました。また、理事の業務執行状況に関する不正の行為又は法令若しくは寄付行為に違反する事実のないことを確認しました。

以上